

子育てに悩む
親たちの集い



親による、親のための集い

不登校

引きこもり

発達障害

非行、高校中退等
子育ての悩み

～親たちが語る、親たちが語り合う～



平成22年

2月7日(日)

13時30分～16時30分

会場：フォーシーズン志木ふれあいプラザ

(東武東上線志木駅東口下車・マルイ8階：電話 048-486-1000)

第一部 <子育てに悩んでいる親たちが自分たちの経験を語る>

第二部 <子育てに悩んでいる親たちが語り合う>

※ ご参加のお申し込みはメールかハガキでお願いいたします。

●メール sec@manabi-21.com

●はがき 〒353-0007 埼玉県志木市柏町4-5-28

NPO 法人コ・ラ・ボ埼玉

主催：NPO法人コ・ラ・ボ埼玉

後援：埼玉県・埼玉県教育委員会

電話：048-487-0006

親による、親のための集い

～親が語る、親たちが語り合う～

趣 旨

不登校、引きこもり、発達障害、非行、高校中退・・・子育ての悩みは尽きません。子育ては、ひとを育む営み。子どもという、自分とは別の一人の人間と対峙する渦中で、悩むことは、決して特別なことではありません。しかし、自分だけが、悩んでいる…。そのような思いに囚われ、のっぴきならない状況に追い込まれ、苦しみ、葛藤している親たちが多くいます。

例えば、子どもたちが学校に行くことを渋りだしたり、家に引きこもりがちになったり、発達障害傾向で学校生活に何らかの支障が生じ始めたり、というような等々の課題が起こったとき、多くの親たちは「ある日突然、太陽が西から上り始めた」かのような衝撃を受け、パニック状態になります。最初、大体は学校の関係者や関係機関に相談しながらも、「なぜ？どうして？」と子どもに、自分に問いかける苦しい毎日が続きます。次に、課題に関係する本を読んだり、心療内科、カウンセラー、フリースクール、親の会等々に足を運ぶようになります。中には自分自身が心療内科やカウンセラーを必要とするようになる親もいます。その経過にあるのは「私がこんなに苦しんでいるのに！」と嘆く親の姿と、本来一番苦しんでいる子どもへの配慮の姿勢の欠如です。その状況が課題を深刻化させる悪循環を招く大きな要因になります。

親たちが独りで悩んでも「堂々巡り」するだけなのです。独りで苦しんでいる親たちが集い、「親が語り、かつ語り合う必要がある」と考えます。その経験が次のステップへの助走となると信じます。

開催日 平成22年2月7日（日）

時間 13時30分～16時30分

会場 フォーシーズン志木ふれあいプラザ

（東武東上線志木駅東口下車・マルイ8階：電話 048-486-1000）

お問合せ先 NPO 法人コ・ラ・ボ埼玉

住所 （353-0007） 埼玉県志木市柏町4-5-28

電話 : 048-487-0006

メールアドレス : sec@manabi-21.com